

北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所

記者発表資料

発 表 日 時

令和8年9月25日

初、「命のみなとネットワーク」防災訓練を糸魚川市姫川港で実施

～海上からの緊急支援物資輸送等を想定した訓練を姫川港で実施～

令和8年8月26日に設立された「糸魚川『命のみなとネットワーク』推進協議会」では、このたび、協議会設立後初となる防災訓練を姫川港（西ふ頭）において実施します。

地震により道路等の陸上交通網が寸断された状況では、船舶を活用した海上からのアクセスが救援活動の生命線となります。こうした「命のみなとネットワーク」を活用した支援物資輸送訓練を糸魚川市では初めて、姫川港を会場に実施します。

訓練を通じて、災害時における関係機関相互の連携強化を図るとともに、被災地支援活動に必要な防災対応力の向上を目指します。

- | | |
|----------|---|
| 1. 日 時 | 令和8年10月2日（金）13時30分から15時30分まで |
| 2. 訓練会場 | 姫川港 西埠頭1号岸壁（耐震岸壁）付近
新潟県糸魚川市寺島地先（別紙1のとおり） |
| 3. 訓練内容 | 情報伝達訓練、緊急支援物資輸送訓練 |
| 4. 参 加 者 | 糸魚川市、上越漁業協同組合、姫川港利用者協議会、
新潟県港湾空港建設協会、一般社団法人新潟県測量設計業協会
上越地区測量設計業協会、新潟県、北陸地方整備局、
上越海上保安署 |
| 5. 取材申込 | 取材を希望される方は別紙4により申し込み願います。 |

※詳細は別紙1のとおり

※当日の天候や海象等により、訓練を中止する場合があります。

中止の場合はご連絡しますので、取材を希望される方は事前の申し込みをお願いいたします。

※訓練終了後の取材対応は15：45までとさせていただきます。
ご理解とご協力をお願いいたします。

同時発表記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
専門紙

（問い合わせ先）
北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所
副所長 寺田、沿岸防災対策官 柿崎
TEL：025-222-6111（直通）

○ 被害想定

上越・糸魚川沖の断層を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、糸魚川市で震度7の強い揺れが観測され、陸路が被災したとの想定。

○ 訓練次第

- ・ 開会（糸魚川市（協議会会長）挨拶、来賓挨拶ほか）
- ・ 情報伝達訓練
- ・ 緊急支援物資輸送訓練
 - 大型浚渫兼油回収船「白山」から巡視艇「たつぎり」へ物資積替
 - 大型浚渫兼油回収船「白山」から車両へ物資積替 → 東ふ頭物揚場へ
 - 大型浚渫兼油回収船「白山」から車両へ物資積替 → 避難所へ
- ・ 閉会



白山から荷下ろし



車両へ画の物資積替



小型船舶へ積替

○ 参加者

【糸魚川「命のみなとネットワーク」推進協議会 構成員】

糸魚川市
 姫川港利用者協議会
 上越漁業協同組合
 一般社団法人 新潟県測量設計業協会 上越地区測量設計業協会
 新潟県港湾空港建設協会
 新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部
 国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所

【協力機関・団体】

NPO法人コメリ 災害対策センター
 株式会社NTTドコモ 関信越支社
 新潟県立海洋高等学校
 海上保安庁 第九管区海上保安本部 上越海上保安署
 NPO法人レジリエンス強化機構

○ 訓練会場 姫川港西埠頭1号岸壁（耐震岸壁）付近



<参考 1>

大型浚渫兼油回収船「白山」



全長	93.9m
全幅	17.0m
総トン数	4,185トン
喫水	5.4m

北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所所属

巡視艇「たつぎり」



全長	27.0m
全幅	5.6m
総トン数	64トン
喫水	—

出典：第九管海上保安部HP

第九管区海上保安本部 上越海上保安署所属

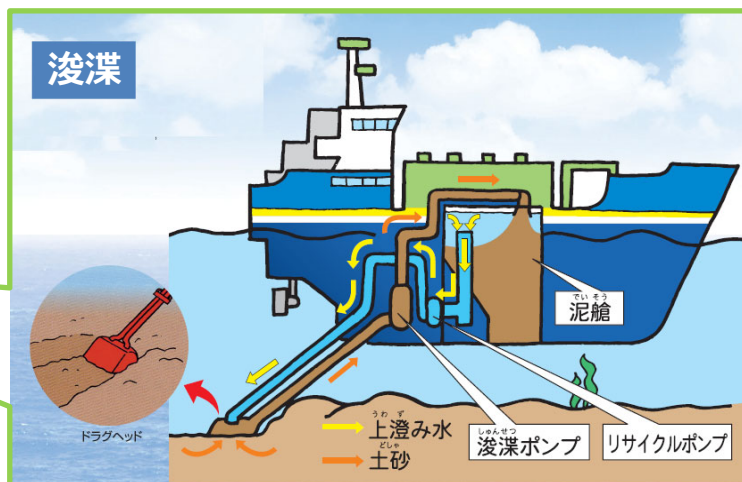
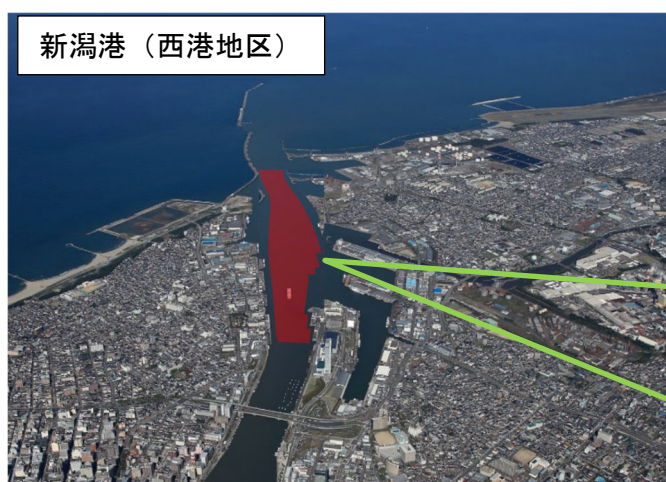
<参考 2>大型浚渫兼油回収船「白山」について

大型浚渫兼油回収船「白山」は、北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所所属の航行しながら浚渫または油回収を行う大型浚渫兼油回収船です。

通常は、新潟港(西港区)において船が安全に航行できるように海や川の底にたまった土砂を掘って、航路の水深を確保する浚渫作業を行っています。

大量油流出事故が発生した場合は、直ちに現場へ急行して油回収を行います。

近年、大規模地震時において、被災地への緊急支援物資の輸送も行っています。



令和8年7月28日に発生した令和8年熊本地震においても、緊急支援物資を荷下ろし、現地において緊急支援物資を引き渡し、給水、入浴等の支援を行いました。



緊急支援物資の荷下ろしの様子



給水支援の様子（自衛隊との協力）



入浴支援の様子（控え室）

＜参考 3＞「命のみなとネットワーク」について

（国土交通省HP令和4年9月22日 報道・公表資料より）

「命のみなとネットワーク」について

別紙1

国土交通省

- 近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生。
- 陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
- こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めていく。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】



H30年7月豪雨時の物資輸送
(広島県中田港)

【被災者の救援輸送拠点】



R3年8月大雨で孤立した地域で
住民輸送を実施（青森県間浦村）

【生活支援拠点】



H29年熊本地震発生後、官公庁船から
市民への給水を実施（熊本県熊本港）

「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組

【国土交通省・市町村等による防災訓練の実施】

“みなと”を活用した物資輸送や被災者輸送等の防災訓練を定期的に実施。



R3年10月に浜名港で実施した、船舶を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練



【「命のみなとネットワーク」の形成に向けて ～“みなと”を活用した災害支援事例集ver1～の作成】

“みなと”を活用した災害対応支援を行った過去事例をまとめたもの。



＜参考 4＞糸魚川「命のみなとネットワーク」推進協議会について

糸魚川におけるみなとの機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを形成することを目的として、令和8年8月26日に設立しました。

会 長：糸魚川市長

構成機関・団体

：糸魚川市、姫川港利用者協議会、上越漁業協同組合、
一般社団法人 新潟県測量設計業協会 上越地区測量設計業協会、
新潟県港湾空港建設協会、新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部、
国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所

取材申込書

取材を希望する場合は、E-mail又はFAXでお申し込み下さい。

E-mail : pa.hrr-niigata@mlit.go.jp

FAX : 025-227-3170

申込み締切は9月30日（水）17時00分までです。

※申込期日に間に合わない場合は、取材が出来ない場合があります。

所属クラブ（所属するクラブに○を付けてください）		
・新潟県政記者クラブ	・新県政記者クラブ	・専門紙
会社名及び部署名		
取材者 役職・氏名（全員の役職氏名を記載願います）		
①（代表者）		
②		
③		
連絡先（代表者の連絡先）		
注意事項		
（10月 2日（金）は訓練会場にお越し願います。）		
※取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用し、担当者の指示に従って下さい。		

上記のとおり、取材を申し込みます。

北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所
沿岸防災対策官 柿崎 あて